

# 日口関係…歴史と現代

神奈川大学特別招聘教授  
しもとまい  
下斗米 伸夫

- \*サンフランシスコ講和条約を再考する
- \*戦後処理で米ソの利害が衝突
- \*現在の国際情勢は「学級崩壊」状態
- \*プーチンのアメリカ観
- \*ウクライナは米ソ対立の震源地
- \*中東におけるトランプ政策の背景
- \*内政重視に転換したプーチン
- \*アジアシフトするロシアと国境問題
- \*北方4島問題を考える
- \*プーチンが抱えるジレンマ



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日はロシアの専門家であります下斗米先生  
においていただきました。長年、法政で教鞭を  
とっておられました。現在、神奈川大学に移  
られておられます。

日口関係は安倍政権の下で解決ができるので  
はないかという期待が非常に高まったわけです  
が、今年になってからロシア側の空気が非常に  
冷たいものになりました。どうもはかばかしい  
進展が今のところ期待できないという状況でご  
ざいます。何が原因でどうしてこういうことにな  
っているのか。そしてさらに、日口の懸案の  
北方領土というものをわれわれが歴史的に完全  
に理解しているかどうか。ちょっと怪しい面もご  
ざいます。日本側はこれが政治的なイシューで

ございますから、いろいろな立場の人が物を言  
うということですが、今日は冷静な目で日口関  
係のこれまでと現在の状況について先生からご  
説明をいただきます。それではよろしくお願  
いいたします。（拍手）

## サンフランシスコ講和条約を再考する

**下斗米** ただいまご紹介賜りました、今年4  
月から神奈川大学に移りました下斗米と申しま  
す。去年もこの席で東郷元大使や何人かの方と  
一緒に第4期プーチン政権発足時のロシアに  
ついてお話しさせていただく機会がございま  
したが、今日は日口関係に絞ります。1週間前も  
日米中口というプロジェクトでモスクワにお  
りましたし、3月には日米口というプロジェクト